

令和5年度の重点取り組み予定・計画

蒜山 図書館

R4年度			
取組内容	進捗状況	改善すべき点(課題)	完了/継続
1 館内デコレーション・POP等展示の充実	着手	職員による展示更新、図書館利用者参加型の展示更新共に好評だったので、どちらも引き続き実施する。	■継続
2 市民参加による協働活動	着手	ボランティアの確保を図ると共に、聴衆となる参加者が少ないので、より多くの方が参加出来るよう告知方法を検討する。	■継続
3 図書館講座	着手	1 3 回実施した。各回 1 0 名～ 2 0 名の募集を行ったところ、参加率は 6 割から 7 割だったので、より多くの方が参加出来る講座を目指す。	■継続
4 学校との協働活動	未着手	蒜山校地生徒数が増えたこともあり、また図書館以外の他方面からの連携等がふえたため、現状では協議が出来ていない。	■継続
5 図書館そだて会議の開催	着手	1 1 月に実施。図書館に限られた空間であることを参加市民が理解しており、その上で快適手軽に読書をしたと言う要望があったので、ツールを増加している。	■継続
6 リクエストボックスの設置	着手	リクエストボックスを目に付きやすい場所に移動した。	完了 (別の形で継続)
7 コミュニケーションボードの設置	着手	口頭でのリクエストが多く、カード利用者が少なかった。常連利用者からの要望が多く、職員へ相談しやすい環境が整っていたことが原因と思われる。	完了 (別の形で継続)
8 特色あるコーナー設置	着手	書棚への配置見直しを行うと共に、開架・閉架両方の資料整理を行い、見やすさや新規資料を受け入れられる状態にした。	完了
9 ぶっくるんまにわ対応	着手	引き続き見直しを行う。現在固定客となる人がいる地区(花園地区)があるので、当面その地区を継続して巡回する予定である。	完了
10 職員会議の実施	着手	5月に1回、10月に1回職員ミーティングを行い、図書館の運営やイベント等活動目標、会計年度職員の勤務スケジュールについて協議した。	完了

R5年度の重点取り組み予定・計画 (【そ】図書館そだて会議、【協】図書館協議会での意見・アイデア)			
柱	取組内容	進捗状況 (年度末まとめ(やってみようだったか、来年度以降にどうしていくか))	完了/継続
1	行動の柱1：公共図書館としての存立基盤の整備 ■継続 【来て見て楽しい図書館への取り組み】 館内デコレーション・POP等展示の充実 ・月例展示・デコレーションは今後も継続充実させる。 ・利用者参加型展示(工作やミニゲーム)が好評で今年度も定期的に開催する。【そ】 【図書館そだて会議の開催】 ・現在は「図書館そだて会議」以外の場で日常的に直接要望を伝えられる場合が多い。そういった常連の方を中心に呼び掛け、参加者同士の意見交換ができる場にしたい。		
2	行動の柱2：子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進) ■継続 【学校との協働活動】 ・蒜山校地に限らず地域の学校との連携し図書館の魅力アップを検討して行く。 ・学生の意見を取り入れた学習室などの改良・改善、ティーンズコーナーや雑誌などの見直しを行って行く。 ☆新規 乳幼児の親子を対象としたイベントの開催。		
4	行動の柱4：知的探究に応えるコンテンツ戦略 ■継続 図書館講座 ・前年度好評だったものを中心に、多くの人が参加できやすい講座を開催する。【そ】		
5	行動の柱5：市民が繋がる地域交流拠点創出 ■継続 【幅広い参画による図書館の魅力づくり】 ①市民参加による協働活動 ・ボランティアは順調に増えている(3グループ)ので参加者(客)の増加を目指す。 ・時間・曜日を固定し地域の人へ広く告知して行く。 【そ】 ☆新規 定例のおはなし会以外でのイベントをボランティアと協力して行う。		

